

関 市 議 会

平成28年第2回定例会

(平成28年6月14日・15日・16日)

代 表 質 問 順 序 表

順序	議席	氏 名	会 派	名	
1	16	山 藤 鉦 彦	明 政	会	14日午前～
2	9	武 藤 隆 夫	市 政	ク ラ ブ	14日午後～
3	3	土 屋 雅 義	平 成	会	14日

一 般 質 問 順 序 表

4	10	田 中 巧	明 政	会	14日午後～
5	13	足 立 将 裕	公 明 党 関 市 議 員 団		15日10:00～
6	4	栗 山 守	平 成	会	15日
7	15	市 川 隆 也	公 明 党 関 市 議 員 団		15日午後～
8	14	幅 永 典	公 明 党 関 市 議 員 団		15日
9	23	小 森 敬 直	日 本 共 産 党 関 市 議 員 団		15日
10	22	猿 渡 直 樹	日 本 共 産 党 関 市 議 員 団		16日10:00～
11	1	渡 辺 英 人	市 政	ク ラ ブ	16日
12	5	桜 井 幸 三	平 成	会	16日午後～

代 表 質 問

明 政 会

議席16番 山 藤 鉦 彦

- 1 消防・防災対策の推進について
 - (1) 熊本地震を踏まえた関市の地震対策は
 - (2) 自主防災会の防災訓練の現状と課題は
 - (3) 消防団員確保の現状と今後の取り組みは

- 2 中小企業の支援策について
 - (1) ビジネスプラス展の成果と課題は
 - (2) 関の工場参観日の今年の取り組みは
 - (3) 関市ビジネスサポートセンターの取り組みは

- 3 教育行政について
 - (1) 主権者教育の推進を
 - (2) 小中学校の運動会の運営は
 - (3) いじめ対策は

- 4 第5次総合計画の策定について
 - (1) 現計画（第4次）の評価は
 - (2) 市民の声を反映した計画を
 - (3) 今後の計画策定スケジュールは
 - (4) 総合計画の策定にあたり市長の所感は

- 5 女性の活躍推進について
 - (1) 女性活躍推進法施行に伴う取り組みは
 - (2) 企業の環境整備と取り組みは
 - (3) 男女共同参画との係わりは

- 6 空き家対策について
 - (1) 特定空家の進捗状況は
 - (2) 空き家バンクの進捗状況は

代 表 質 問

市 政 ク ラ ブ

議席9番 武 藤 隆 夫

1 統合した中学校について

- (1) 統合して約2か月経過したが状況は
- (2) P T A活動の状況は
- (3) 校区が広がったことによる影響は
- (4) 今後の小学校、中学校の再編は

2 関市総合防災訓練について

- (1) 熊本地震の被害状況から得た教訓は
- (2) 中山間地域で想定される訓練は
- (3) 今年度計画している防災訓練の内容は

3 板取川流域の駐車場問題について

- (1) 違法駐車や路上駐車状況をどうとらえているか
- (2) 駐車場を整備できないか
- (3) 違法駐車を取り締まりと連携は

代 表 質 問

平 成 会

議席3番 土 屋 雅 義

- 1 直下型内陸地震への対策について
 - (1) 熊本地震の災害ボランティアを経験しての所感は
 - (2) 災害時に福祉避難所は機能するか
 - (3) 災害ボランティアセンターの運営は
 - (4) 熊本地震を教訓とした災害対策を

- 2 関市ビジネスサポートセンターについて
 - (1) 事業のねらいと目標はどのようなか
 - (2) センター長、副センター長はどのような人物か
 - (3) これまでの進捗と今後のスケジュールは

- 3 関市長の海外視察について
 - (1) 今回の海外視察の目的は。また視察の概要は
 - (2) 視察を終えての所感は
 - (3) 関市の観光・産業に活かせる成果は

- 4 関市役所での女性職員の登用について
 - (1) 現在の女性職員の役職ごとの割合は
 - (2) 女性職員に期待するところは何か
 - (3) 女性職員が活躍できる職場環境の整備を

一 般 質 問

議席10番 田 中 巧

- 1 各地域における事務所および公共施設の考え方について
 - (1) 地域事務所と支所の違いは
 - ア 地域事務所の職員数の推移は
 - イ 地域事務所と支所の違いと執務内容は
 - (2) 公共施設の利用に問題はないか
 - ア 板取川中学校体育館の現状は
 - イ 西部保育園新築の計画は適当であったか
 - (3) 各地域の将来に向けた考えは

- 2 刃物ミュージアム回廊整備計画について
 - (1) これまでの計画の進捗と今後のスケジュールは
 - (2) 外国人観光客の誘客は
 - (3) ソフト事業と経済効果は

- 3 空き家対策について
 - (1) 利用可能な空き家対策は
 - (2) 利用不可能な空き家の対策は
 - ア 倒壊が予想できる危険な状態のまま放置してある建物の対応は
 - イ 火災で焼失した建物放置の対応は
 - (3) 空き家のリフォーム等への補助（支援）で有効活用を考えては

一 般 質 問

議席13番 足立将裕

1 熊本地震の教訓を受けて

- (1) 活断層の位置を把握して、対策に活かすべき。認識と対応は
- (2) 地震による土砂災害について、認識と対応は
- (3) 大勢の車中避難者（車中泊）の対応は
- (4) 罹災証明書はスムーズに発行できるか
- (5) 被災者支援システムの状況は
- (6) 「近助」を想定した訓練も必要ではないか
- (7) 大規模災害を想定した「地域防災計画」の見直しを

2 消費増税再延期による市の影響について

- (1) 財政的には
- (2) 政策的には
- (3) 中長期財政計画と合わせ、今後どのような市政を行っていくのか

3 生活困窮者自立支援と生活保護について

- (1) 生活支援相談室の実績は
- (2) 生活保護世帯の実態は
- (3) 生活保護受給条件について
- (4) 生活支援相談室は機能しているか
- (5) 就労準備支援事業など任意事業も必要ではないか

一 般 質 問

議席4番 栗山 守

1 買い物困難者支援策について

(1) 農林水産省食料産業局「食料品アクセス問題」に関するアンケートの回答内容は

- ア 対策の現時点での必要性
- イ 対策の将来における必要性
- ウ 行政による対策
- エ 対策の具体的な内容

(2) 今後の買い物支援策について

- ア 各地域委員会が地元住民に対するアンケートで「暮しづらい、不便に思う点」の上位に、「公共交通が不便、買い物など日常生活が不便」が挙げられているが、このことに対して、どのように受け止めているのか
- イ デマンドバスなど、利便性を向上させる考えはあるのか
- ウ 民間の事業者を活用する考えはあるのか

2 せき行財政改革アクションプランに関わって

(1) 公共施設使用料の見直しについて、どこまで進んでいるのか

3 公共施設等再配置について

(1) 学校施設の開放を、今後どこまで進められるのか

(2) 中池市民プールの改修又は改築の予定はあるのか

一 般 質 問

議席15番 市川 隆也

1 防災対策について

(1) 住宅の耐震化事業について

- ア 昭和56年以前の木造住宅の耐震診断の実施状況は
- イ 住宅の耐震補強工事の実施状況は
- ウ 住宅の耐震補強工事への公費助成の現状と今後の対策は
- エ 住宅の一部を耐震化する「耐震シェルター」設置への公費助成を

(2) 防災機能の整備について

- ア 飲料水の備蓄・給水体制の進捗状況は
- イ 非常食の備蓄量の進捗状況は
- ウ 非常用トイレ整備の進捗状況は
- エ 災害時に長期滞在する指定避難所である小中学校の体育館の窓ガラスの飛散防止、落下防止対策はできているのか
- オ 指定避難所の停電時の非常用電源の整備はできているのか

(3) 「自主防災」活動の推進・強化について

- ア 関市の防災リーダーである防災士の活躍、活動状況は
- イ 各地域の「自主防災」の活動状況は
- ウ 総合防災訓練日を各地域の「自主防災訓練日」と位置づけ、各地域の防災備蓄倉庫内の資機材を活用した、消火訓練・炊き出し訓練等の計画を推進し、市民の防災意識の向上を

2 AEDの普及と今後の課題について

(1) 市内の公共施設や店舗のAED設置の進捗状況は

(2) コンビニへのAED設置の進捗状況は

(3) 小中学校での、休日のグラウンド使用や夜間の体育館使用時でも利用できるAEDの屋外設置の推進は

(4) AEDの設置案内版や設置場所へ誘導する表示板整備の進捗状況は

(5) 心肺蘇生法やAEDの使用方法を学ぶ出前講座や救命救急講習への市民の参加状況と今後の受講者を増やす対策は

1 国民健康保険事業について

(1) 広域化について

- ア 何が期待できるのか
- イ これまでの業務内容は変わらないのか
- ウ 保険税の算定の仕組みと現保険税はどうなるのか
- エ システム改修等、準備に新たな費用負担は生じないか

(2) 高額療養費制度について

- ア 適用区分別の世帯割合は
- イ 適用件数と償還払い件数の推移は
- ウ 「限度額適用認定証」「限度額適用・標準負担額減額認定証」の発行数の推移は
- エ 高額療養費貸付制度について

(3) 高齢受給者証について

- ア 対象人数と各負担割合に該当する人数は
- イ 利便性と経費削減のために保険証と一体にするべきと思うが見解は

2 福祉避難所について

- (1) 対象となる住民の概数は把握しているか
- (2) 災害が発生した時、福祉避難所の開設というのはどのような手順で行われるのか
- (3) 設置運営に関する協定の締結は進んでいるか
- (4) 市内事業所からの人材派遣協定は進んでいるか
- (5) 物資器材、人材の確保、移動手段はどのように運営されるのか
- (6) 福祉避難所運営マニュアルは完成しているか

3 「第70回全国レクリエーション大会 in 岐阜」について

- (1) 大会目的と関市の取り組みは
- (2) 準備スケジュールは

一 般 質 問

議席23番 小 森 敬 直

1 社会保障制度と市独自施策について

- (1) 介護保険制度の改正において介護慰労金事業は継続すべきではないか
- (2) 紙おむつの購入券支給事業についての活用状況は
- (3) 障がい者や高齢者に対するゴミ袋の減免制度は適切か
- (4) 重度障がい者タクシーおよび自家用車利用助成の拡充はできないか

2 熊本地震について

- (1) 熊本地震の特徴をどのようにとらえているのか
- (2) 連続する地震に現在の耐震基準で対応できるのか
- (3) 車などの避難場所の確保や災害弱者への配慮が必要になるのではないか
- (4) 感震ブレーカーの設置促進を図るべきではないか

3 工事車両の制限について

- (1) 大型車両の通行規制についての決まりは
- (2) 道路を損傷した場合の復旧対応は適切か

一 般 質 問

議席22番 猿 渡 直 樹

1 都市計画税に係る見直し案について

- (1) 7つの見直し案の中で、関地域と武芸川地域への課税が最も適切と考えた理由は
- (2) 都市計画事業等の予定がない地域への課税をどう考えるのか

2 関市プレミアム商品券発行事業について

- (1) 昨年度の事業実績と評価は
- (2) 事業の教訓と課題および今後の方針は

3 生活保護の状況について

- (1) 生活保護受給世帯、人数の推移は
- (2) 生活困窮者自立支援制度の実施による生活保護制度への影響は
- (3) 自家用車の所有・利用の制限について、障がいや病気等に配慮した運用を

4 保育所定員および保育士の配置について

- (1) 3歳未満児の保育の状況は
- (2) 保育士の配置状況は

一 般 質 問

議席1番 渡 辺 英 人

1 災害時の自助・共助の推進について

- (1) 現在行っている防災、減災意識向上のための啓発活動は
- (2) 地域の防災リーダーとなる防災士等の人材育成についての考えは
- (3) 各家庭における備蓄品確保の必要性を周知する方法は

2 南北道路の整備について

- (1) 市道東山西田原線開通後の課題について
 - ア 横断歩道や街路灯を整備する予定は
 - イ 交差する市道へ標識やカラー舗装等を整備する予定は
 - ウ 開通に伴い通学路が危険になった場所への対応は
 - エ 南側への延長道路の整備計画は
 - オ 国道248号バイパスまで繋ぐ計画は
- (2) 中濃・各務原・尾張北部連絡幹線道路調査について
 - ア 調査の狙いと目的は
 - イ 将来に向けた名古屋市内への交通アクセス向上の考えは

3 特定外来生物について

- (1) 市内で確認されている特定外来生物（動物・植物）の状況は
- (2) 繁殖力が強いオオキンケイギクの駆除対策は
- (3) 自治会配布用チラシ等を作成して市民へ周知したらどうか
- (4) アダプトプログラムを活用する考えは

一 般 質 問

議席5番 桜井幸三

1 観光事業の掘り起こしや磨き上げについて

(1) 関市の謎解きアプリ「雲揚羽 (KUMOAGEHA)」について

- ア このアプリ制作の意図と費用は
- イ 市職員のこのアプリのダウンロード状況やその反応は
- ウ 観光モデルコース作りの進捗状況は
- エ 今後、このアプリのリニューアル予定は

(2) 「円空」の観光振興について

- ア 関市円空館、関市洞戸円空記念館における最近の入館者数の推移は
- イ 岐阜県博物館開館40周年記念として「東海地方の円空仏」が9月23日～11月20日まで約2か月間も計画されている。関市として県博物館とどんなコラボレーションをしていく予定か

2 日本一しあわせなまちづくりについて

(1) せきのまちづくり通信簿調査結果について

- ア 平成23年から実施し5年間公表し、市長の感想や今後への思いは
- イ これらの調査結果を第5次総合計画作成にどのように生かしていくのか

(2) 主な施策の「重要度が高く、満足度が低い」施策の経年比較表について

- ア 「介護・高齢者福祉」が掲載されている。このことについて市の考察は
- イ 地域包括支援センターの具体的な仕事内容とその実績の推移は
- ウ 「子育て支援」が掲載されている。このことについて市の考察は
- エ 「子育て世代包括支援センター」の開設はいつ頃で、どんな仕事内容か
- オ 「留守家庭児童教室」の夏休み中の学校開放は十分か